



筑波大学
University of Tsukuba

「やってみたい！」 を応援するプログラム



学問探究 チュートリアル

科目名	開設学期・曜時限	単位数
学問探究 チュートリアル	春B・水3、4限 春C〜秋ABC・応談	1単位

学問探究チュートリアル

どのような学生向けのプログラム?

入学間もない皆さんは大学での学びにどんな期待を抱いていますか? 何かを学んでみたい意欲はあるけれど、何をどのように学んだらよいのか、まだ漠然としていると感じるなら、この科目がお勧めです。漠然とした自分自身の興味関心をもう一步深掘りし、将来の自分の専門分野探しや自分の尖ったところ探しをしてみたいと思う皆さん、是非ご参加ください。

どのようなことができるプログラム?

大学で自ら探究してみたい「問い」を見つけ、その探究の進め方を自分で計画し、実践してみようことを試みます。まず、春Bモジュールの5週間では、この科目の受講生みんなでワークショップをします。そこで、探究の意味を考え、自分から積極的に何かをしてみる練習をします。さらに、その探究のために文献調査をしたり、その道を専門とするアドバイザー教員から助言を受けたりして進めます。教育・研究に経験豊富なチューター教員がその探究の過程に寄り添い伴走してくれますから、探究への自らの動機も高めることができます。年次が進むにつれ、この科目での経験がさらに生かせるようになり、自然に探究が学問への道に導かれていくようになります。

**学問探究
チュートリアル**

総合科目(学士基礎科目)
2026年 第3期生募集

科目情報

科目名 学問探究チュートリアル
開設学期・曜時限 春B(水3、4限) 春C〜秋ABC(応談)
単位数 1単位
履修希望者はアンケートにお答えください。
詳しくはWebページをご覧ください。

連絡先

チュートリアル学修推進委員会
Email: tutorial.edu@un.tsukuba.ac.jp
https://tutorial.edu.tsukuba.ac.jp

学生の皆さんへのメッセージ



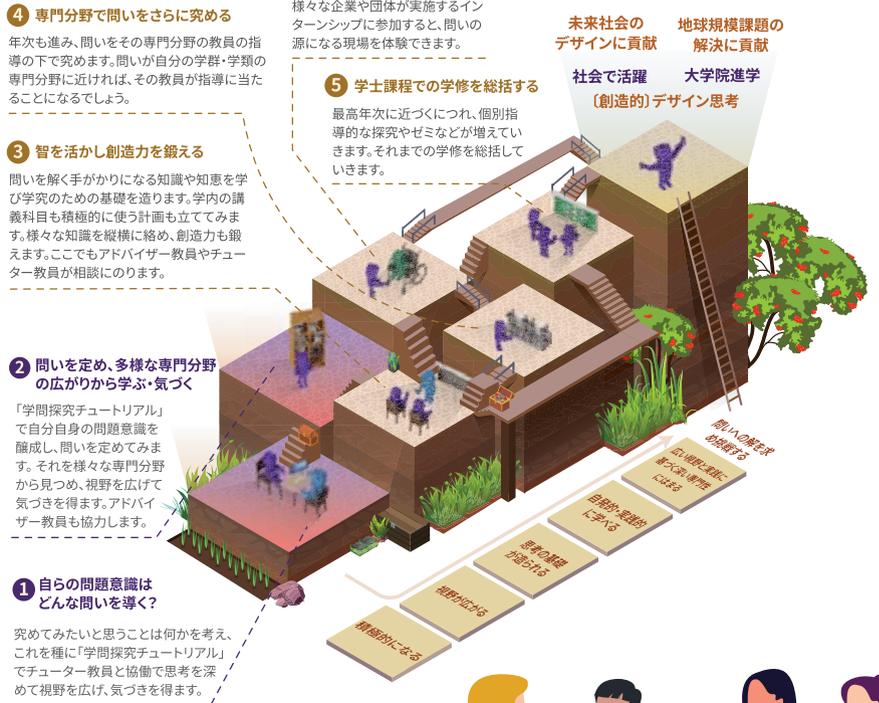
坪内 孝司 チュートリアル学修推進委員長 / 先端教学推進機構長

もともと他分野の科目履修の自由度が高いオーダーメイドな学修ができることが本学の特長のひとつですが、このチュートリアル学修で、さらに学びもオーダーメイドにしていきたいと思います。チューター教員が、皆さんの関心や興味、知的好奇心を増幅し、学問の森に導きます。「学問への誘い」で垣間見たセカイに今度は皆さん自身が入っていくお手伝いをします。本科目の受講を楽しんでください!

なぜチュートリアル学修?

筑波大学は、2030年代の半ばまでに、授業の形態を従来の座学を中心とする形態から、世界の第一線で学問分野を切り開いている教員による個別指導を豊富に含む形態に転換していく方向性を持っています。このような授業形態をつくば型チュートリアル学修と呼び、自らの興味に基づく学修を進め、入学してくる学生の多様性にも対応できる学修をめざします。入学直後から年次が進むにつれて高い専門性を帯びていく6段階のプロセスを設定しています。「学問探究チュートリアル」は、このつくば型チュートリアル学修を先導するものになります。入学直後の学問探究の入門編として、下図①②に対応して学問探究の方法を身につけられるよう設計しています。

学修プロセス



問い合わせ
チュートリアル学修推進委員会

E-mail: tutorial.edu@un.tsukuba.ac.jp
Website: https://tutorial.edu.tsukuba.ac.jp



科目名	開設学期・曜時限	単位数
研究者体験 2026	春秋ABC・集中	1単位

先導的研究者体験プログラム (ARE)

どのような学生向けのプログラム?

今すぐにも探究してみたい研究テーマがあるなら、このプログラムに参加してみることがおススメです。学類・専門学群のカリキュラムでは、「研究」への着手が高年次になることが多い中で、このプログラムは初年次から研究者体験をすぐに始めることができます。理系・文系は問いません。全学群・学類の1年生から3年生が対象です。

どのようなことができるプログラム?

関心のあるテーマについて、「研究計画書」を作成・提出します。アドバイザー教員を依頼することもできます。審査を経て課題が採択されると、すぐにその研究課題に取り組むことができ、研究資金の獲得も可能で、研究者としての体験を早くからスタートできます。研究者に必要な研究力、表現力、コミュニケーション力を鍛える仕組みもあります。異分野の学生との合同研究発表会や交流セミナーを通して視野がさらに広がります。研究が進み、国際会議や研究論文の発表につながるARE参加者もいます。将来、大学院での本格的な研究活動に発展することも期待できます。

参加者からのメッセージ

西 勇樹 (人文学類 3年)

一口に研究と言っても、そこには様々なプロセスがあり、責任を持って計画的に遂行するためには、準備段階が非常に大切です。私は文化財の破壊分析を手法に研究をしています。文化財は替えがきかず、再分析が困難な貴重なモノなので、どんな試料で、何のためにという点を綿密に検討した上で作業を始めることが重要です。しかし実際は、得たデータの解釈に苦しみ、もっとどんなパラメータを検証するのか事前にもっと詰めておくべきだったと反省が残りました。このように、AREはこれから研究を行っていくに際して、必要不可欠なエッセンスを学ぶことができる貴重な機会です。誰も知らないことを明らかにする楽しさを味わいませんか?



小野瀬 黎音 (地球学類 1年)

私はSSH校出身ではありませんが、研究分野に対する強い熱意がありAREに挑戦しました。活動を通して研究に必要な技術・考え方だけでなく、試行錯誤しながら申請書の作成方法なども習得でき良い勉強となりました。様々な手続きがあり慣れない私は苦労しましたが、実際に研究費で調査道具を購入でき嬉しかったです。ただし、自分の視野を広げることも大切です。そのため、学問探究チュートリアルを受講も検討してみてください。普段の勉強と研究を上手く両立させて楽しく頑張りたいです。



吉田 成秀 (知識情報・図書館学類 3年)

AREでは私が進学以前から構想していた珈琲の研究を、所属を横断する形で実現できました。具体的には憧れていた教授から直接助言を受け、仮説の精緻化や測定手順・解析結果の整理、先行研究の探索方法や新たなサーキットエッセンスの発見など、研究者としての基本動作を体系的に学びました。また、研究費の運用も非常に本格的で、計画立案から申請・期限管理・報告までを厳密に求められます。学会発表では自らの感動を他者に共有する力も必要でした。これらを早期に体験できるAREは、研究者を志す人にとって極めて有益なプログラムだと思います。研究はある意味、学問版トレジャーハンティングです。貴方も困難の先にある未知なる感動を見つけてみませんか?




先導的研究者体験プログラム

<https://www.are.tsukuba.ac.jp/>



筑波大学プロボスト 加藤 光保

筑波大学は新たな学問分野を開拓する 先導的研究者を育成します

「先導的研究者体験プログラム」(ARE)は、全学群・学類の1年生から3年生を対象に、理系、文系を問わず、学生諸君の自発的な研究活動を支援するプログラムです。このプログラムは、学生の研究意欲や研究能力を伸ばすと同時に、自発的に学ぶ力をつけ、創造的で先導的役割を果たす研究者を育成することを目的としています。

研究してみたいけど……。

- 費用が足りない
- 研究設備がない
- テーマが定まらない
- 何から始めたらいいかわからない

研究交流室で説明を聞こう!

- 研究費の支援
- 研究テーマの決定
- 申請書作成のサポート

manabaへの登録を忘れずに!

問い合わせ

筑波大学 研究交流室
(第三エリア 3B棟2階 3B205室)
〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1

Tel/Fax: 029-853-8284

E-mail: are-2020@un.tsukuba.ac.jp

Website: <https://www.are.tsukuba.ac.jp/>



エンブリオ・プログラム

研究助成(公募) 最大30万円/1年度

募集期間(2026年度)

2026年3月23日(月)~5月22日(金)

どんなことができるプログラム?

大学での学びやサークル活動、多様な考えを持つ仲間との出会いで醸成させた「自分のやりたいこと」から「リサーチクエスチョン」が見えてきたら、研究プロジェクトに発展させてみましょう。

助成対象の研究テーマ

- ① 現在および未来社会が抱える(地球規模)課題解決を目指す研究
- ② 人、社会、地球の健全な未来の構築に資する研究

研究プロジェクトを始めるには?

1. リサーチクエスチョンについて深掘りする:自分の「なぜ?」はすでに解明されているかもしれません。また、似た研究手法を使って未解明の謎を解くことが可能かもしれません。先行研究をたくさんインプットして自分の研究をどうやって実施するか検討します。
2. 社会への寄与について考える:あなたの成果が社会にどのようなインパクトを与えるか、という視点で考えてみましょう。社会の困りごとを解決する、または解決の一步になる、誰かの研究を発展させる等複数の寄与が可能であると考えられます。このような検討が協力者や資金を得るきっかけになります。
3. 期間内の達成目標と実施計画を立てる:大きな謎に挑戦するには時間も費用も人員も莫大なものかもしれません。研究費を受けられる期間に、その謎のうちのどの部分を、どのような方法で明らかにするか計画しましょう。また、本プログラムでは研究プロジェクトについて指導・助言する教員の協力を得ることを必須としています。関連の研究をしている教員を探し相談しましょう。
 <筑波大学教員の研究を調べるウェブ情報>
 - 学者の社 <https://forest-of-scholars.sec.tsukuba.ac.jp/>
 - 筑波大学のSDGsへの取り組み <https://www.osi.tsukuba.ac.jp/sdgs/effort>
4. 申請書を書き上げる:研究プロジェクトの選考では、研究計画等は具体的に成果が見込めるものを選定します。申請書の必要事項を埋めるのではなく、1~3を考える過程で目的や方法、社会的な価値など厚みのある提案が出来上がるでしょう。申請書は責任教員だけでなくいろいろな人にフィードバックをもらい、質の高い研究計画の申請書を書き上げましょう。

学生の皆さんへのメッセージ



西尾 チヅル DESIGN THE FUTURE機構長 / ビジネスサイエンス系教授

DESIGN THE FUTURE機構(DTF機構)は、現在および未来社会がかかえる地球規模課題解決のために、国連が設定した持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)やそれに継ぐBeyond SDGsに対し、本学がどのように貢献できるかを探索し、人と地球の健全な未来の構築を目指します。

2023年度から、本機構は学生とともに「CO₂削減プロジェクト」と題し、学食メニューのCO₂排出量の可視化を通して、CO₂排出に対する学生や教職員の意識・行動の変容を目指すプロジェクトに取り組んでいます。DTF機構は、未来を創造する学生のみなさんの早期研究スタートアップを応援します!

応募・採択・研究期間のスケジュール



採択プロジェクト(例)



世界ジオパーク隠岐の生物多様性とその活用・保全基盤の構築

世界ジオパークに認定されている島根県隠岐島には、希少種を含む独特な生物相や、日本列島形成に関して重要な地層が分布しています。しかし、様々な分野での調査の遅れや、開発や地球温暖化等による環境破壊などの問題が発生しています。そこで、地質調査や生物調査を行い、隠岐島の地球史や生物多様性について明らかにしつつ、自然保護や教育、ジオパーク運営等にも活用できる知見の集積に取り組んでいます。



遺伝子工学技術を用いた海洋付着生物による環境負荷問題解決プロジェクト

フジツボなどの海洋付着生物は船舶に付着すると、重量の増加と水流抵抗の増大を引き起こし、燃料消費を約40%増大させます。また、これらの付着を阻止する防汚剤も海洋汚染を引き起こします。そこで我々は海洋生物由来の物質を微生物に生産させ、環境に優しく付着生物問題を解決することを目標に研究を進めています。エンブリオ・プログラムの助成では、大腸菌での物質生産と国際学会での成果発表を行いました。



問い合わせ
DESIGN THE FUTURE 機構
(研究推進部研究企画課(DTF機構事務局))

Website : <https://www.osi.tsukuba.ac.jp/embryo-program/sdgs/embryo-program>
E-mail : sdgsweb@un.tsukuba.ac.jp



T-ACT

つくばアクションプロジェクト

科目名

みんなで創ろう「つくばアクションプロジェクト」

開設学期・曜時限

春B・秋AB

単位数

1単位

つくばアクションプロジェクト(T-ACT)

どのような学生向きのプログラム?

大学生になって「やってみたい」活動はありますか?自分の興味や関心を活かしてやってみたい何かがあれば、T-ACTを使って気軽に始めてみましょう。漠然としたアイデアでも構いません。今から「やってみたい」を見つけない学生も大歓迎です。T-ACT Forumでお待ちしています!

どのようなことができるプログラム?

皆さんの「やってみたい」活動を企画して、実現することができます。遊び心あふれる企画、学術的な企画、社会貢献につながる企画など、好きなようにプロデュースして、自分のペースで進められます。挑戦することでスキルアップし、ステキな人間関係も広がります。

T-ACT アクション

学生が立案する活動です。あなたの「やってみたい」から企画し、仲間を集めて実行に移してみましょう。物品貸出、打合せ場所の提供、そしてコンサルタントが相談に乗って、実現できるようサポートします。

T-ACT プラン

教職員が立案する活動です。教職員の活動に参加し、専門性と運営スキルを学ぶことができます。ここで体験から自分の「やってみたい」を発見できたり、T-ACTアクション企画を立案して活動することにつながることもあります。

T-ACT ボランティア

地域活動団体が募集するボランティア活動です。団体が募集する活動情報の提供だけでなく、「やってみたい」活動に合わせたボランティア活動(プロジェクト型ボランティア)ができるようサポートしています。

学生の皆さんへのメッセージ

T-ACTコンサルタント 李健實

大学生ならではの思い出がたくさん作られるようサポートします。自分の「やってみたい」を実現することで授業では学べない気づきや成長、そして大切な思い出が得られると思います。そんなワクワクした体験と一緒に形に残りませんか。



T-ACTサポーター 寶積 應公

T-ACT「やってみたい」ことに思いっきり挑戦できる。T-ACTはそんな場所です。T-ACTフォーラムでは学生が主体となって教職員や地域社会、そして世界とつながり共創できる空間です。趣味を仲間と楽しむ、社会課題を解決する、たくさんの可能性があります。まずは一歩、気軽に踏み出してみることをおすすめします!



【23013A】【24028A】【24003A】【23013A】
日韓青少年対話型交流事業
(日韓みらいファクトリーアワード)

どのように利用できる?

とりあえず、あなたの「やってみたい」をwebページから申請するか、コンサルタントとの面談予約をしてみましょう。皆さんの「やってみたい」を実現させるための、ありとあらゆるお手伝いをします!例えば、実現方法を一緒に考えたり、手続きのレクチャーや人材の紹介、物品の貸し出しなどなど、相談や助言、様々なサポートをしています。

T-ACT活用例

【23011A】筑波大学芸術学部

【25022A】【24015A】旧宿舎からの脱出
廃墟の新たな価値を筑波大学から発信したい思いから、旧宿舎を有効活用して謎解き×脱出ゲームを実現!学内で大反響を呼び、第2弾も実施しちやいます。



【24028A】【24003A】【23013A】

日韓みらいファクトリーアワード
日本を超えて国際交流できる場を自分で作り上げようと思い、日韓の学生100名が集まって、地球規模の課題の解決策を考えていくプログラムを企画して実施することが実現できました!その後、国際共修プログラムの授業として開催しています。



問い合わせ

筑波大学 T-ACT推進室
(第1エリア 1D棟 3階)



Website: www.t-act.tsukuba.ac.jp
E-mail: forum@t-act.tsukuba.ac.jp
X: @t_act_consult



他にもある。 やってみたいを応援する様々なプログラム

全学の学生が履修可能なプログラム



ツクバ・グローバル・プラス/
人文・文化学群、社会・国際学群

アジアなどの新興国を対象としたグローバル・リーダーシップ教育プログラムです。
海外短期研修による現地経験に基づく探究へと誘います。

全学の学生が履修可能な科目

自由科目 (特設)



つくばロボットコンテスト/
工学システム学類

グループで創意工夫し、知能ロボットを設計・制作する公開コンテストです。



巨大プロジェクトエンジニア
入門/工学システム学類

実務経験教員による講義やPBLにより、キャリアパスを考察します。



コンテンツ表現工学/
工学システム学類

異分野との協調により、独自のコンテンツを制作する一連のプロセスを体験します。



筑波クリエイティブキャンプ/
工学システム学類

卒業生等の講師陣が講義・演習を行う、起業家育成プログラムです。

学群共通科目 (他学群生も履修可能)

情報学群



enPiT-BizSysD後継プログラム
ビジネスシステムデザイン
基礎I、II&実践I、II

社会ニーズに対する実用的なソリューション開発をチームで自律的に行います。



組み込み技術キャンパスOJT

企業講師の指導の下、自由な発想で組み込み系ソフト/ハードを企画・開発します。

各教育組織の学生対象



学際研究プロジェクト/
総合学域群

教員と対話しながら、広い視野から学際的研究を行う基礎力を養うプログラムです。



心理学体験実習I/心理学類

様々な実験や調査研究に参加して、学生が主体的に体験学習を進めます。



人間フィールドワークI~III/
人間学群

教員や大学院生との対話により、学生の学修や研究を支援します。



研究マインド応援
プログラム/生物学類

卒業研究より前に、希望するラボで独自の研究テーマを追求できます。



生物寺子屋/生物学類

少人数チューター制授業により生物を考え抜くことで批判力や問題設定力を養います。



領域研究/芸術専門学群

14領域について、具体的にどのような事が学べるのかを知り、履修指導を行います。



研究室演習/医学類

興味のある専門分野の研究室へ行き、「研究」を体験します。



課題探究実習セミナー/
物理学類

教員と学生が一緒になって、物理学に関するテーマを設定し探究します。



数学手習い塾/数学類

教員や大学院生が、授業でのつまずきから進んだ内容まで数学に関する様々なレベルの相談に答えます。

